

<研究名称>

A Case of Catastrophic Epistaxis from Internal Carotid Artery After Multiple Surgeries and Radiation Therapy for Pituitary tumor: Rescued Without any Sequelae by High Flow Bypass and Simultaneous Skull Base Reconstruction.

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者

所 属 耳鼻咽喉科

職 名 副部長

氏 名 高林 宏輔

実施担当者

所 属 耳鼻咽喉科

職 名 副部長

氏 名 高林 宏輔

<研究期間>

2021年6月から

<診療・研究の目的>

内頸動脈破裂による多量の鼻出血は中枢性の合併症のハイリスクな状況である。下垂体腫瘍に複数回の手術と放射線治療を施行して骨壊死と感染が慢性的に存在し、露出した内頸動脈が破裂した症例の治療経過を報告し、同様の症例に対して根治的な治療法を提案する。

<実施内容（方法）>

脳神経外科によるハイフローバイパスにより破裂した内頸動脈をクランプ可能としつつ、中枢への血流を確保しつつ、耳鼻咽喉科により経鼻的に全ての腐骨と感染組織を除去して頭蓋底再建を行なった。完全に根治的な状況となり、患者は後遺症なく退院した。

<危険性（副作用）等>

すでに治療は終了し、患者は後遺症を認めず外来通院中である。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

耳鼻咽喉科 高林 宏輔

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648